

## 新規

## 健康経営支援事業

健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課

- 1 予算額 1,860千円
- 2 目的及び効果 市内の事業所が、従業員及びその家族の健康管理を経営視点で捉え、自主的な取組を支援することにより、健康づくりに時間の取りづらいつ働き世代等の健康づくりの習慣化を目指します。

## 3 事業概要

## (1) 健康経営優的事业所顕彰制度

事業所の自主的な健康経営の推進を目指し、全国健康保険協会(協会けんぽ)と連携し、新たに顕彰制度を設けます。

## (2) 健康経営優良法人認定取得支援補助金

小牧市内に本社がある事業所を対象に、経済産業省が運営する健康経営優良法人認定取得に係る申請手数料の一部を助成します。

## (3) 健康経営セミナーの開催

協会けんぽ、小牧商工会議所と連携する中で、健康経営セミナーを開催し、支援メニューや健康経営優的事业所の取組事例の紹介など、健康経営に関する情報共有の機会を提供します。



充実

## 個別歯科健診事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 19,039千円

2 目的及び効果 噛む、飲み込む、話す等、口腔機能が衰えてくる状態をオーラルフレイルといいます。歯の喪失や口周りの筋力低下などが主な原因で、これを放置すると心身の機能低下を招き、介護リスクを高めます。

この対策として、従来実施する歯科健診の健診項目にオーラルフレイルに関する健診項目を追加し、オーラルフレイルの早期発見につなげます。

### 3 事業概要

歯・口腔の健康課題となっている口腔機能低下の早期発見、早期治療につなげるため、40歳から80歳までの5歳刻みを対象に実施する「いきいき世代個別歯科健診」の健診項目に、咀嚼・嚥下機能や舌・口唇機能、唾液の分泌状態等、オーラルフレイルに関する健診項目を追加し、個々の状態に応じた歯科保健指導を実施します。

対象者に対し、歯・口腔の健康づくりに関する内容を盛り込んだ受診券を個別に通知して意識の高揚を図るとともに、実施歯科医療機関での受診を促します。個々の結果に応じ、歯磨き方法や食生活習慣、また口腔機能を高めるような方策に関する個別指導を実施し、口腔内環境を整えることができるよう支援します。



## 充実

## 口腔がん検診事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 1,723千円

2 目的及び効果



口腔がんは、口腔内の粘膜にできる癌であり、比較的進行が早いのが特徴です。

病状によっては、舌や下顎の切除が必要になる場合もあり、食事や発声に影響を与えるなど生活の質の低下につながることから、早期発見、早期治療につなげることができるよう、小牧市歯科医師会と連携し、検診事業を実施します。

3 事業概要

小牧市歯科医師会と連携し、集団による口腔がん検診を実施します。この実施にあたっては、昨年度より実施回数を拡充し、問診、視診に加え、蛍光観察装置を用いた検診を行い、口腔がんの早期発見に努めます。

【対象者】50歳以上の市民

【実施回数】年4回

【実施場所】保健センター

【実施手順】

- (1) 広報、市ホームページ、チラシ等で周知
- (2) 申込受付
- (3) 案内通知送付
- (4) 口腔がん検診実施



## 帯状疱疹予防接種費用助成事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 29,599千円

2 目的及び効果 心身のストレスや加齢に伴う免疫力の低下が誘因になり、帯状疱疹を発症する人が増加していることから、発症を予防するために予防接種の費用を助成することにより、経済的負担を軽減し健康の保持と増進を図ります。

3 事業概要

【対象者】

市内の予防接種実施医療機関でワクチン接種をした50歳以上の市民の方

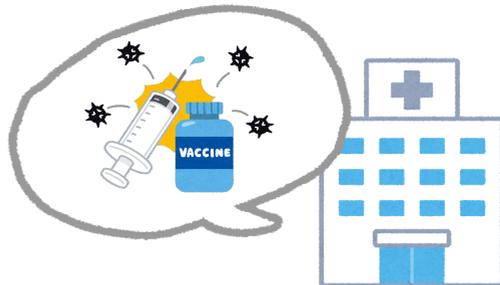
【助成額】

シングリックス:1人1セット(2回接種)

1回接種につき接種費用の半額程度で上限1万円

ビケン:1人1回接種で、接種費用の半額程度で上限3千円

※帯状疱疹とは、水痘・帯状疱疹ウイルスによって皮膚の痛みなどが起こる病気です。



## 子宮頸がんワクチン接種事業

健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 119,735千円

2 目的及び効果

子宮頸がんワクチンを接種することにより、子宮頸がんの発生と関連が深い一部の型のヒトパピローマウイルス感染を予防することができます。



3 事業概要

【通常接種分】

小学6年生から高校1年生相当年齢の女性は、予防接種実施医療機関にて無料で接種できます。

【キャッチアップ接種分】

平成25年6月から積極的な接種勧奨が中止されていましたが、令和4年度から再開されました。中止されていた期間に接種対象者であった、平成9年度から平成19年度生まれの11学年で、今までに接種をしていない女性を対象に、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間を接種期間として無料で接種できます。



新規

## 視覚障がい者歩行訓練事業

福祉部 障がい福祉課

1 予算額 987千円

2 目的及び効果 視覚障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、視覚障がい者歩行訓練事業を実施します。  
白杖を使用して街中を歩いたり、バスや電車を利用して出かけられるようになることを目指します。

3 事業概要

【対象者】

身体障害者手帳(視覚)の交付を受けている方で、事業の利用が必要と認められる方

【事業内容】

視覚障害者リハビリテーションワーカー(歩行訓練士)を派遣し、1回あたり2時間程度、白杖を使用した歩行訓練や目的地までの経路習得等の訓練を行います。1人あたり年間12回を上限とします。



**新規****補聴器購入費助成事業**

福祉部 障がい福祉課

1 予算額 988千円

2 目的及び効果 聴力の低下によりコミュニケーション等に支障のある難聴者に対して、購入費用の一部を助成することにより、聞こえを補い自立した日常生活を営むことができるようになります。

## 3 事業概要

## 【対象者】

・以下の条件を全て満たす方

- ① 市内在住で18歳以上の方  
(身体障害者手帳(聴覚)所持者を除く)
- ② 中等度難聴者(両耳聴カレベルが40～69デシベル)の方
- ③ 市民税非課税世帯に属する方

## 【助成額】

補聴器購入費用の2/3(上限35,266円(※))

※補装具購入時に係る基準額(52,900円)の2/3

## 【開始時期】

令和6年7月

